

米沢有為会『文化大学』

第二十三回文化大学

平成二十九年九月三十日（土）

於・東京興讓館

『本来の私』を生きるとは

――闇を照らし出す光の下で――

基督教独立学園高校 前校長 安 積 力 也



深層崩壊の時代です。岩盤の上にある物が全て崩れる。皆さんは、生きている自分の存在の土台をどこに置いていますか。確かに見えるものは、いくらでもあ

る。しかし、確かに見えるものと、本当に確かなものとは違う。今やあらゆる情報がフェイクである。どちらが自分に取って都合が良いか選択しているだけである。若

い世代の方は、自分の人生を賭けて確かなものを探そうとしていますか。

闇の正体を見つけようとすれば、当然光が必要である。光には二種類ある。闇を忘れさせてくれる光と、闇の正体を照らし出す光である。私は国際基督教大学で修士課程を含め、八年間を過ごした。当時は全共闘運動が盛んで、学内が翻弄された。教育現場に進むことを決意した。卒業後、敬和学園高校（教頭）、日本聾啞学校、恵泉女学園女子中学校・高等学校、基督教独立学園の三校の私立学校の校長を務めました。校長室のドアには、いつでもお入り下さいとの札を出していた。

恵泉女学園のとき、中学一年の生徒が校長室に入ってきて面談をした。私を直視して、「先生は何で生きている？」「先生は、何で死なない？」と詰問した。この国には希望が無くなっている。戦争が出来ない国から出来る国になってしまった。学校では、自分の仲間に合わせてる事で精一杯である。こんな人生いやになっている。さらに「絶望して教師を辞めないのですか？」と質問する。この生徒は、外面的には、よく出来る生徒である。東日本大震災以降は、願望が「死にたい」から「消えたい」に変わる。

基督教独立学園は、東京帝大物理学出身の鈴木弼美氏が創立者である。内村鑑三の聖書集會に参加していた学生だった。彼は、内村鑑三の精神を基軸に、独立学園の教育の基本構造を構築した。内村の主張する本当の人間教育の基本要件は何か。第一、読むべきものは聖書。第二、学ぶべきものは天然。そして第三、なすべき事は労働。創立者は、内村の言う三つの大事な人間教育の必須要件を全部取り入れたカリキュラムと全寮制の共同体を創った。一学年二十五名で、教員は二十数名の小規模の全日制の普通高校である。田んぼや野菜畑もあり、堆肥作りもする。牛、豚、鶏の世話と朝夕の搾乳。牛の冬場の飼料作りのために、山の斜面にある牧草地に行つて草刈りをする。食料の半分は自給し、食事も生徒達が中心となつて作る。受験のための勉強はしない事を公言している。一番大事にしているのは、礼拝である。朝夕と日曜礼拝。朝夕の礼拝のとき、生徒が自分の心のためにしているものを、自分に裏切らない言葉で表現する感話をしてもらう。

それを教員も率先してやる。教員が心を閉じているのであれば、生徒は心を開かない。不登校やいじめられた事や親の不仲などの悩みを語ることによって、呪縛から

解放される。先生や先輩の感話を聞いた新入生は、次のような話を全校生徒の前で公表している。「今の私は、ラムネ瓶のビー玉のようである。自分で作つてしまったラムネ瓶を壊して外に出たい。」

また、東日本大震災後に「私の中に砂時計があります。気がついたら、落ちた砂は二度と戻らない。今日という日を生きたい。」と感話で話した生徒もいる。「死を覚えよ。」は年齢に関係なく共有できる確かなものである。「人間は必ず死ぬ。」これから生きる青年が、心の闇を直視する勇気を誰からも教えられていない。「嘘つかずに、真向かつてくれる大人」に出会えない。この国の青年達の悲劇である。

皆さんは、いくつの顔を持っていますか。自分の素顔を見たことがありますか。

私達は、自分自身に付けて、取れなくなった仮面の中にいる。現実の私と理想の私に乖離がある。どうせ私なんて、-----。自分に負のレッテルを付けて思い込んで

『本来の私を、見出すための「自問」』

（自問一） 皆さんは、「第二の誕生」をしたか。

「私達は、いわば、二回この世に生まれる。一回目は存在するために、二回目は生きるために。」（ルソー『エミール』第四編）

大半の人は、内なる人を殺して生きている。これを演じ続けている内に、気が付けば、墓穴の前にいる。フランク・カフカの短編小説に「掟の門」がある。この場合の掟とは、人間として確かな生き方を保証するものである。しかし、この門には自分以外に誰一人として入れない。

（自問二）あなたは、本当のところ何を願っている人間か。

他者の目が届かない一人の世界で自分と向き合う。「主に自らをゆだねよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」（旧約聖書 詩篇三十七）心の願いとは、心の奥のどん底の魂の求めである。

恵泉女学園の創設者である河井道氏には次のような言葉がある。「誰もが、人間として未開の泉を持って生まれて来ている。」だから、人間は、尊厳を持っている。

最後に若い世代の方に言いたい。艱難汝を玉にする。安全地帯に居続けると、自分が腐ってしまう。

プロフィール

国際基督教大学大学院教育学修士課程修了（教育哲学専攻）

NHKEテレビ番組 心の時代／宗教・人生／宗教の時間 出演

著書：『教育の力』岩波ブックレット



第二十四回文化大学

平成二十九年十一月十二日(土)

於・東京興譲館

法律そぞろ歩き

東京海洋大学名誉教授 佐藤 好明



文化大学での講演に興味を持って頂ける様、又より良き理解の為に、次に概要を示します。

第一話。落語「花見酒」。

熊さんと八つつあんが桜の名所で酒を売ろうと、馴染みの酒屋の番頭さんから、酒は勿論、釣銭まで借りて出掛ける。此の釣銭を、酒代として八に渡して、熊が酒を呑む。今度は八が其の釣銭で酒を呑む。こうした釣銭の遣り取りで酒は呑み尽され、売上としては釣銭しか残っていない事に気が付く。「釣銭×取引回数＝酒の売上総額」の式は、貨幣数量説に一見似るが、如何。商売物に

手を出さず、売買を別勘定にすべき事を、経済や法律は、どう扱っているか。番頭さんが、熊・八の利益に与える条件があったと仮定すると、中世ヴェニス貿易での契約の型に結び付く。この型が鎖国前の我が海外貿易に取り入れられ、その記憶が西鶴の「投げ銀」の語に残っている。投機的投資に対する批判の余映が此の落語の源流か？

第二話。映画『マイ・フェア・レディ』の冒頭で、オーディリー・ヘップバーン演ずる花売り娘の言動をノートに書き留めている探偵(tec 隠語)がいます、他人に注意されて花売り娘は恐れ慄いて騒ぎ喚く。バーナード・ショー作『ピグマリオン』が映画の原作だが、ここでは探偵ではなく「デカの犬(nark)」、つまり密告者(informer)とされている。密告制度は中世時代から広く用いられ、必要も効用もあつた。しかし、密告に絡んで処刑されたジョナサン・ワイルドに見られるように、弊害も極めて大きい。マイ・フェア・レディを驚愕させたのは、偽証による死刑・殺人に追い込まれる危険であつた。英国法では一九五一年に廃止されて過去の遺物になったかに見えるが、アメリカ合衆国の漁業保護法は、違反の通報に報奨金を与えるとの規定を、一九七〇

年から七年間置いていた。法違反を告発することの奨励、救貧法、偽証等が絡み合った困難な問題を克服出来たか、考えさせられる。

第三話。同じく「マイ・フェア・レディ」で花売り娘の父親・ドゥリトルの再婚話の場面では、教会の結婚式に遅れないように連れて行ってくれと、しつこい位何度も頼む。結婚式の時間になる映画には、他にも「哀愁」(原題 The Waterloo Bridge)がある。ビビアン・リー演ずるバリーナ見習いの悲劇は、挙式の時間に間に合わなかった事で起きた。「シャーロック・ホームズ冒険」の一篇「ボヘミアの醜聞」で、浮浪者に変装したホームズがサンタモニカ教会に十二時五分前に潜り込んだところ、結婚式の証人として引つ張り出されたのは、残り時間が三分しか無く、遅ければ「合法の結婚でなくなる。」つまり、重罪とされるからであった。このような苛法を避けて、融通の利くスコットランドの挙式的方式規定の適用を受けようとする駆け込み結婚が曾て大流行した。婚姻の方式違反を犯罪から外すのに、二〇一二年までかかっているのである。

第四話。十世紀に平維茂が藤原の諸任側の女性を見逃した事を、兵の道・日本の騎士道の誕生と竹内理三教授

は評価しておられる。平家物語でも「昔より女は殺さぬならひ」が語られている。英国では、シェイクスピアの「ヘンリー八世」の中で、ウルジー卿に婦人の特権を言わしめ、史実でもエドワード三世が、強姦をした兵を縛り首に処すとの軍令を出している。イギリス人傭兵ホークウッドは、雇い主の枢機卿の命に背いてまで敵の女性を保護した。他面、スペインのレコンキスタ(イスラム教徒に占領されたイベリア半島をキリスト教徒の手に奪回する運動)中、イスラム教徒を包囲した後、指揮官が出した降伏条件が寛大過ぎて、掠奪等の期待が裏切られたとの理由で、フランス兵が包囲軍から脱走してしまった事件がある。第二次大戦中には、この規則の悲惨な違反の例は多い。

ユーゴ内でのソ連兵による強姦に関する抗議を受けて、スターリンは驚くべき返答で開き直ったと言われる。問題は手に余るが、人の業の深淵を覗いて、問題の深刻さに触れる。

プロフィール

一橋大学法学研究科博士課程修了 専門は国際法
オックスフォード大学シニア・アソシエイトメンバー

第二十五回文化大学

平成三十年四月二十八日（土）
於・東京興譲館

地域と医療の再生

―上杉鷹山公に学ぶこと―

（株）日本病院共済会 代表取締役

堺 常雄



一、はじめに

皆さんは、医療は病気に
なった人が医療機関にかか
るもので、健康な人は関係
ないとお考えかもしれません
が、そうではなく、多く
の人が関係しています。①
利用者・社会②政策決定者
③医療提供者がそうです。日本は国民皆保険制度を取り
入れていますので、保険証一枚でどこの医療機関を受診

できますし、原則的には三割の自己負担で良質な医療を
受けることができます。非常に恵まれた国といえることが
できます。

二、医療を取り巻く環境の変化

しかし、二十世紀の中ごろから地域と医療を取り巻く
環境が大きく変わってきました。少子・超高齢社会に突
入して過疎地域が増え、一方で年々増大する社会保障費
や変容する医療ニーズにどう応えるのが大きな課題と
なってきました。

このような社会・財政状況は、鷹山公が一七六七年に
十七歳で米沢藩の家督を相続したころの状況に似ていま
す。鷹山公は幾多の困難を乗り越え、米沢藩の財政と産
業の改革を行いました。私たちは鷹山公から学ぶことが
あるのではないのでしょうか。

三、上杉鷹山公に学ぶ

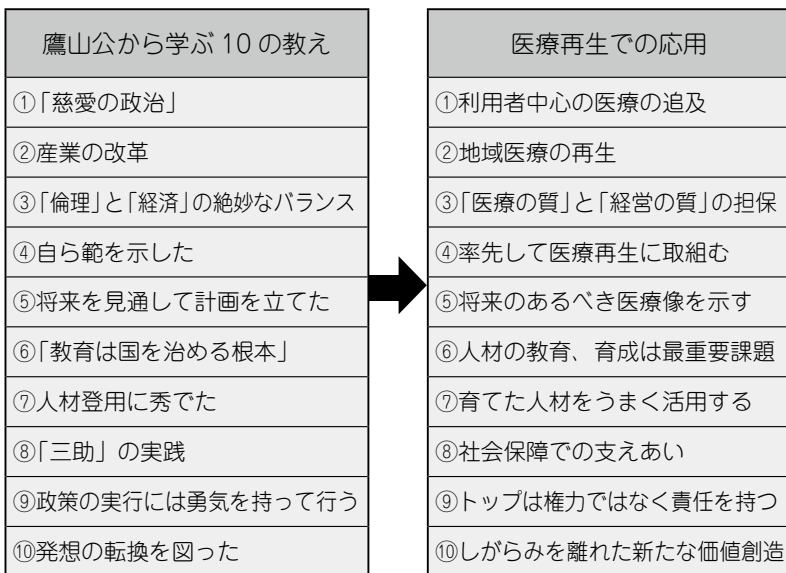
グローバル社会で鷹山公を有名にしたのは、一九六一
年一月二十日に四十三歳の若さで第三十五代アメリカ合
衆国大統領に就任したジョン・F・ケネディです。彼は
就任演説の中で次のように述べています。「アメリカ国

民諸君、国があなたの方のために何ができるのかを問うのではなく、あなたの方が国のために何ができるのかを問うてほしい。」その後の記者会見で日本人記者が、「日本で最も尊敬する政治家は誰ですか？」と尋ねたところ、ケネディは「上杉鷹山」と即答したということです。なぜ大統領が鷹山公を知っていたかは定かではありませんが、一八九四年に内村鑑三が英文で出版した「代表的日本人」を読んで鷹山公を知っていたのではないのでしょうか。以下に鷹山公の行った改革について触れてみます。

三つの大きな改革として、①財政の再建②産業の改革③精神の改革があります。ケネディに影響を与えたのは、精神の改革に含まれる「三助（自助・互助・扶助）」の実践と思われます。他にも鷹山公が示したこととしては、「倫理（学問）」と「経済（現実）」の絶妙なバランス、行動、教育についての優れた指示などがあります。

二 医療再生で応用できる鷹山公の教え（図）

この様に鷹山公が行った財政・産業改革は現在必要な医療再生で応用できることが多くあります。十の教えを挙げてみましたが、変革の時代に経営トップに求められるのは、鷹山公が発想の転換を図ったように、今までのしがらみにとらわれることなく新たな価値創造をするこ



（図）鷹山公から学ぶ 10 の教え —医療再生での応用—

とです。

教えのベースは「慈愛」の政治ですが、これは「利用者中心の医療」の追及に通じ、「倫理」と「経済」のバランスは、医療再生で大切な「診療の質」と「経営の質」の担保に通じます。

三 鷹山公が行った医療・社会福祉改革

鷹山公は西洋医学を積極的に導入し、藩費助成による内地留学制度を創設し、一七九三年には医学館・好生堂を設立し、診療の質の担保を重視しました。健康保持にも心を配り、地域で医療・社会福祉をカバーする領民を思った政策を実行しました。

三 地域包括ケア

少子高齢社会で地域の人口も減少していく中で、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム（地域包括ケアシステム）の構築が必要になってきます。これは鷹山公の「三助」の教えに相通じるものがあります。

四、おわりに

鷹山公は大きな変化の真ただ中に家督を継ぎ、「慈

愛」の心、「三助」の精神等で米沢藩を復活させました。いま私たちの地域、医療は少子・超高齢化の波による大きな変化に直面しています。時代背景、置かれた立場は違っても、しなければならぬ課題は同じではないでしょうか。

鷹山公の教えを学び、医療・地域再生を達成することは可能であると信じています。

プロフィール

一九六三年三月

米沢興讓館高校卒業

一九七〇年三月

千葉大学医学部卒業

一九七一年九月～一九七九年六月

脳神経外科・関連研修（米国）

一九七九年八月

浜松医科大学

一九九六年九月

聖隷浜松病院（院長）

二〇一一年十月～二〇一七年五月

聖隷浜松病院（総長）

（役職等の兼務）

二〇一二年四月

一般社団法人日本病院会 会長

二〇一七年六月

一般社団法人日本病院会 名誉会長